

共同研究「グローバル社会の環境法政策」 2021年度活動報告

研究会代表 阿 部 満

1. 活動

今年度は、主に海洋プラスチックごみ、気候変動訴訟を中心に研究した。

2. 成果

TSURUTA Jun, 2021, "Japanese Implementation of the United Nations Convention on the Law of the Sea," in TAMADA Dai and ZOU Keyuan (eds.), Implementation of the United Nations Convention on the Law of the Sea: State Practice of China and Japan, Springer, pp.65-75.

TSURUTA Jun, 2021, "Japanese Measures Taken against the Marine Plastic Waste Problem," 『法学研究（明治学院大学）』第111号（2021年8月）, pp.169-187.

鶴田 順, 2022, 「衡平と公平」大塚 直・諸富 徹 編『持続可能性とWell-Being』（日本評論社, 2022年1月）, pp.100-101.

鶴田 順, 2022, 「中国の海洋環境保護関係法」『環境法研究（信山社）』第14号（2022年1月）, pp.71-97.

鶴田順・瀬田真, 2022, 「本特集「海洋ごみの国際規範」について」『環境管理』2022年3月号, pp.10-14.

阿部満「ロイヤル・ダッチ・シェルに対する気候変動訴訟」明治学院大学法学研究113号掲載予定.

以上